

# 仙台市議会 政策報告

発行者  
加藤和彦

仙台市青葉区愛子東六丁目7-45  
TEL.022-392-2213  
FAX.022-392-6176  
<http://k-kazuhiko.com/>

一緒に創ろう！  
仙台の未来

青葉区発  
No.22  
令和元年6月

平成31年度 第1回定例会 一般質問

区役所、総合支所を核とした地域開発を元に、  
今後のまちづくりについてを考える。

第1回定例会 一般質問

質問と回答

Q1 宮城総合支所管内の抱える課題

A1 地域や関係者と情報共有に努め、活性化、  
元気な街づくりに鋭意取り組んでまいります。

Q2 区役所・総合支所を核とした地域開発について

A2 新年度、各区にまちづくり推進部を新設し、  
地域の魅力づくりや課題解決に取り組める体制とする。

Q3 西部地区のまちづくりについて

A3 関連部局とも連携しながらアートを活用する  
地域活性化への支援のあり方について検討してまいります。

## TOPIC

- ・愛子土地利用計画案について
- ・市立学校への空調設備設置工事について(宮城総合支所管内)
- ・宮城地区の将来に向けて ・平成31年度主な予算案概要
- ・主要事業の内示状況(宮城総合支所管内)
- ・平成31年度組織改正について ・平成30年度補正予算案の概要
- ・平成31年度 施工箇所一覧表





第1回定例会

1

一般質問

## 宮城総合支所管内の抱える課題

Q 加藤和彦議員

平成元年4月1日、仙台市は念願の政令指定都市となり、5区役所、2つの総合支所という体制でスタートし、今日に至っております。発足当時88万人ほどだった人口も、現在は108万人を擁し、特に、宮城総合支所管内においては、平成元年当時、約33600人だった人口が、昨年には、約73400人へと、実に2倍を超える増加となっている状況にございます。

確かに、愛子、落合、栗生、吉成地区といった市中心部に隣接する地域においては、大型店舗をはじめ、クリニック、各種事務所などの集積も進み、人口が増加しておりますが、このため、仙山交通の動脈である国道48号線の慢性的な渋滞も顕在化している事実もございます。

一方、作並・新川、熊ヶ根、大倉地区といった地域においては、人口が近年急速に減少してきており、65歳以上の高齢者の割合は、実に約42%となっております。

宮城総合支所管内においてさえ、こうした地域間の乖離が年々進んでいる状況を踏まえ、何らかの手を今、打っておかないと、将来にわたり、大きな課題を残すことになるのではないかと危惧を抱くわけであります。

そこで、当局はこうした宮城総合支所管内が抱える課題について、どのように認識しておられるのか、まず伺いいたします。

A 青葉区長

宮城総合支所管内が抱える課題認識と総合支所の今後の役割についてお答えいたします。

総合支所管内は、広大な面積を有し、愛子周辺においては急速な人口増加への対応、西部におきましては、人口減少、少子高齢化に伴う活力の低下等、様々な課題を抱えております。

住民の皆様の、安心安全な暮らしの確保はもとより、当地域が有します、豊かな自然環境、観光資源を活用した地域の活性化は、交流人口拡大のためにも、大きな課題と認識しております。

これまで、行政の最前線でございます総合支所は、ふるさと支援担当を中心に、作並新川地区などにおきまして、地域主体の組織づくりをはじめ、必要なアドバイスを行うなど、活性化への取り組みを支援してきています。

今後は、これらに加えまして、総合支所の隣接地におきまして、商業業務施設などの集積により、地域交流拠点として新たな賑わい創出が期待

されております。

総合支所といたしましても、こうした機会を逸することなく、その効果が広く行きわたりますよう、本庁部局と連携を密にし、様々な地域や

第1回定例会

2

一般質問

## 区役所、総合支所を核とした地域開発について

Q 加藤和彦議員

来年には東京オリンピック、パリオリンピックを控え、その後には2025年に、大阪・関西で万博が開催されることが決まっております。ますますさまざまな投資が首都圏へ、そして関西圏へと流れていくなかで、いかに仙台、東北が生き残っていくのか、これは容易でない大きな課題であります。

地方がいかに時代を先取りして、他の自治体に対抗していく努力をしていくかが、今後の都市間競争を生き抜く、大きな試金石であると考えます。

現代においては、AIをはじめとするICTの進展、様々な分野でのロボット化の動向など、時代を取り巻く潮流はますますその激しさを増しております。決してこうした流れを逃すのではなく、地域において、どのように取り入れ、課題解決につながるのか、より個性的なまちづくりをモデル的に行い、それによりいかに投資を呼び込むかが大切であります。

関係者の方々との情報共有に努めるなど、引き続き宮城総合支所管内の活性化、元気なまちづくりに鋭意取り組みまいります。

宮城総合支所管内を横断する仙山線は、日本で最初に交流電化による鉄道の運行が実現した路線であり、それが後の新幹線への成功につながっている歴史を顧みれば、この地域はまさに社会実証の先進地といっても過言ではなく、これからの様々な先進技術の実証をまちづくりに活かしていく手法も、この地域の発展に向けた一つのテーマになりえると考えております。

例えば、飛躍的に進歩しているVRをはじめとする映像コンテンツとすぐそこまで実用化が迫っている5Gといった通信インフラの組み合わせとともに、自動車の自動運転やドローンによる宅配といった新たな技術を活かし、自宅、まるでその場にいるかのような臨場感の中で、買い物ができ、しかも、それらが自動で配達されれば、過疎地での買い物難民への一つの解決策が提示できると考えます。

また、自宅に居ながらにして、映像による遠隔診療や福祉関係の書類申請ができれば、わざわざ医療機関や行政機関に向かなくても、必要な



医療や福祉サービスを享受することも可能となります。

現在直面している課題解決のみならず、これからの医療・福祉サービスや行政機関の窓口業務にも画期的な改革をもたらすこととなります。

かつて、1970年の大阪万博において、我々が目の当りにした携帯電話や電気自動車といった未来は、今や現実のものとして、日常生活に溶け込んでおります。我々のこれからの責務として、未来を担う子供たちに、どのような夢を提示できるか、そうしていかに世界に向けて一地方から発信していくことができるか、こうした観点も非常に重要であると考えます。

これからのまちづくりを考えていくにあたって、重視すべきは、区役所、総合支所の職員がいかに主体性を持って取り組んでいくかといった視点であります。これまでの本庁と区役所といった関係ではなく、自分たちの区の素晴らしさを自分たちでしっかりと捉えて、積極的に発信し、そのことによって、企業の投資も獲得していく、そういった取り組みを進めることが肝要であります。

今、宮城総合支所を中心とする愛子地区において、新たなまちづくりが進みつつあります。まさにこうしたエリアを一つのモデル地区として、地域に住まう市民の皆様と夢を与える取り組みを区役所、総合支所が中心になって進めていく、それを推進していくのが、今回ご提案されている区役所におけるまちづくり推

進部の主要な仕事であるべきと考えます。

地域の発展には、そのハブとなる区役所、総合支所の機能強化と充実が不可欠と考えますが、当局はどのような構想をお持ちなのか、お伺いします。

### A 仙台市長

区役所、総合支所を核とした地域開発についてのご質問でございます。

本市仙台市が、都市としての魅力をもっと高めて、躍動し、輝き続けるまちとなるためには、まちの主役は人である、との理念のもと、市民の皆様方がいきいきと活躍する力を十分に引き出すということが肝要であると考えております。

また、時代の転換期を迎えまして、複雑かつ多様化する諸課題に的確に対応していくためには、行政もまた

従来の延長線の発想のみならず、まちの将来を思い描き、その実現に挑戦する気概を持って取り組む必要がございます。

新年度、こうした想いを形にするべく、各区にまちづくり推進部を新設し、これまで以上に職員が現場に足を運び、多様な知恵や力をかけ合せて、地域の魅力づくりや課題解決に積極的に取り組める、その体制とするところでございます。

加えまして、ICTやAIの活用は、事務の効率化のみならず、人口減少社会における様々な困難を解決する突破口ともなりまして、地域の発展を先導する可能性を持っているものと確信しております。

今後とも、私自身が先頭に立って、戦略的な都市経営により、本市の未来に向けて歩みを進めてまいりる所存でございます。

### 第1回定例会

## 3

### 一般質問

## 西部地区のまちづくりについて

### Q 加藤和彦議員

西部地区のまちづくり、地域活性化については、まちづくり政策局において仙台市郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクトを推進するなど、本市としても積極的に事業を展開しているところであり、成果が出つつあるものと認識しております。

また、作並・新川地区においては、

始したと伺っております。

こうした取り組みは、人口減少と高齢化が急速に進行する地域での将来に対する危機感の高まりによるものと存じますが、全国の人口は平成27年に初めて減少に転じました。本市においても、近い将来、人口減少の局面を迎え、少子高齢化のさらなる進展が確実視されています。このような状況の中で、市民生活や地域社会への影響を考えますと、まちづくりの担い手の確保は避けて通れない課題であると考えます。

こうした中で、これからのまちづくり活動の主体は、地域にお住まいの方だけでなく、地域と関わりのある、あるいは関わりがなくとも関わろうという意思のある方など、幅広い方々であろうと考えます。

近年はアートをきっかけにしながら、地域にお住まいの方だけでなく様々な方々を巻き込み、その関わりの中で地域の活性化につなげようとする取り組みが全国各地で行われるようになりなりました。

震災からの復興支援の中には、アートを核とした活動が多数あります。例えば石巻地域では、2017年に「アート」「音楽」「食」をテーマにして「リ・ボン・アートフェスティバル」が開催され、延べ26万人を動員しました。多くの方々が牡鹿半島など石巻の地を訪れ、その地域の姿を実際に見、感じる機会であったと同時に、地域にとりましてはアートによる新たな活力や賑わいづくりの可能性を見出すことにつながったのではないかと

平成29年9月に「作並・新川地区活性化連絡協議会」を設立し、青葉区でもこの動きを積極的に支援するた

め、作並・新川地区活性化事業を「ふるさと底力向上プロジェクト」として位置付け、宮城総合支所ふるさと支援担当が協議会と連携して取り組んでおり、今年度は協議会内に4つの部会を置いて、それぞれに地域活性化のための具体的事業の検討を開



と推察しています。2019年夏には2回目のフェスティバルが開催されると聞いています。

本市におきましても、平成28年度から「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」がスタートしています。アートのユニークな視点と地域の資源や課題をつなぐこの事業は、復興まちづくりの意義も踏まえつつ、宮城野区岡田の新浜地区において、地域の資源である貞山運河に注目した事業が展開されていると聞きます。地域にお住まいの方々も協働しながら、津波で流された橋に代わり、アートの橋を貞山運河に架けるといふ、震災からの復興と新たな賑わいづくりを目指すプロジェクトだと伺っております。

このように、アートがきっかけとなり、自分の住む地域に関心を持つたり、地域の外から人呼び込むことにつながったりすることで、地域に活力が生まれ新たな賑わいを生み出す可能性は十分にあります。全国各地でこのような取組が盛んに行われていることから、本市においてもこのような取組を推進することは大いに意義があるものと考えます。そこで改めてお尋ねします。外部の資源も活用しつつ、アートの視点を取り入れたイベント等をきっかけとしながら、地域づくりにつなげていくことは、地域活性化を進める上でも、有効な取組みであると考えますが、ご認識を伺います。

アートの持つ力は、いろいろな分野で活用ができるものと思えます。近年は、高齢者施設などでの取組

みもありますが、アートを教育活動の一環として取り入れている学校もあります。全国的には、学校法人、NPO法人など経営形態も、いわゆる小中高等学校やフリースクールなど学校種別も様々ですが、子どもたちが集う施設が地域にあることは、賑わい・活性化に良い効果が出るものと考えています。

昨年の第1回定例会、また第4回定例会において、作並小学校の統合問題についての議論がありました。西部地域においては児童生徒の減少が進んでいます。学校は子どもたちの学びの場としてだけでなく、地域コミュニティの中心でもあり、また大人の学びの場、地域社会とのつながりの場でもあります。

学校が統合という方向になった場合には、学校の跡施設活用も含めて、地域に関わる方々と、まちづくりについてより丁寧に取り組んでいくことが何より必要であります。

そうした中、地域の高齢化が進むことで、当該地域のまちづくりの担い手不足が深刻になるおそれもあります。今後、まちづくりの担い手となっていくであろう地域の若い方々の考え方や意見を生かし、地域に関わりのある方々と共に、まちづくりの中心となって活動していくための人材育成にもつながる取組みが望まれるものと考えます。

石巻地域や宮城野区の取組みは、まちづくりの担い手について考える際に、参考とするべきものではないでしょうか。

アートをきっかけとした地域づ

くりの可能性について触れてまいりました。本市の西部地域におきましても、地域が持つ特性、また、これからの地域の担い手の思いを生かしながら、アートの持つ力を活用し、まちづくりにつなげられる可能性があるのではないかと考えますが、ご所見を伺います。

#### — A ♪ 仙台市長

##### アートの視点を取り入れた地域活性化について

アートの視点を取り入れた地域活性化についてでございます。

今日のアートとの関わり方は、美術館やギャラリーで鑑賞して楽しむだけでなく、実際に作品に触れたり、また作品づくりに参加するなど、より身近なものとなってきております。

例えば、里山をフィールドにした新潟県十日町の大地の芸術祭、また商店街の空き店舗を活用した若手作家による展覧会など、様々な生活の場所を舞台にアートプロジェクトが展開をされてきております。

こうした動きが増えておりますのは、アートが、人々の興味と関心を引き起こし、交流と賑わい、また新たな街の活力、魅力を生み出す力が備わっているからではないかと思えます。

とりわけ、地域の方々とアーティストが協働しながら作品制作する手法は、特色ある地域づくりにつながるものでありまして、結果として

地域活性化に有効なものであると認識をしております。

併せまして、そのプロセスを積極的に公開・発信することで、さらに地域に関心を持って課題を共有する人々を増やしていくことによって、持続可能なまちづくりに向けた人づくりへの寄与というのにも期待できるのではないかと考えているところでございます。

#### — A ♪ 教育長

##### 西部地区の可能性について

西部地区におけるアートを活用したまちづくりについてのご質問にお答えいたします。

長い歴史や緑豊かな自然環境、また温泉といった観光資源を有する本市の西部地域におきましても、アートの持つ力で、地域の特色を生かしながら、そこに住む方々と来訪する方々がつながり、活力を生み出していくことができるものと考えております。

地域にお住まいの方々をはじめ、地域に関わりのある方々との意見交換などの中で、お考えもお伺いし、関連する部局とも連携しながらアートを活用する場合の支援のあり方などについて検討してまいりたいと存じます。







### ③未来型教育の開発と人材育成

- ・少子高齢化時代には一人一人の子供が、将来の日本を背負って立つ人材として育つことが必要。
- ・義務教育から自分を磨き、強く生き抜く力を持つ児童生徒の育成を貫く。
- ・児童生徒数の減少が進む西部地区の学校について、再編も含めた抜本的な対策を講じ、より良い教育環境の構築を図る。

#### ○思いやりのある児童生徒(豊かな心)

- ・あらゆる場で豊かな心と、ともに高め合う実践と発表により、自身と実力の育成。
- ・体験活動・交流活動を通して、「思いやりの気持ちを持ち、温かい心で考え行動できる児童生徒」が子供社会の常識へと進化
- ・学校と家庭の子育て意識の共有と指導の共通実践(家庭と学校の信頼関係の醸成による密接な連携と対話、実践発表会)

#### ○つながりのある学校づくり(家庭・地域社会との連携)

- ・地域の人材等の積極的な活用と、地域から学ぶ教育活動の推進(学校では得難い新鮮な学習の場づくり、活用・探求の学習の重視)
- ・学校・地域社会での活動を積み重ね、発表を兼ねて地域行事への積極的な参加・協力
- ・自分づくり(自分への目覚め)教育の推進

### ④防災対策

- ・広大な地域に集落が点在していることから、大雨・豪雪や土砂災害等危険地域における円滑な情報提供や避難のあり方の検討
- ・防災拠点機能及び自衛隊等の災害対策拠点
- ・緊急物資の中継場所の設置
- ・緊急避難場所としての拠点づくり
- ・除融雪対象路線のアンバランス是正の必要性
- ・水害防止のための雨水・排水の整備

### ⑤地域医療

- ・西部地区は医療機関が少ないので、通院手段の確保が必要

### ⑥経済・観光関係

- ・ウイスキー世界最高位受賞のニッカ仙台工場、除染に活用されている仙台産ゼオライト、愛子地区松原工業地域の西部への大胆な拡大
- ・宮城地区の観光資源の魅力向上に取り組むとともに、泉、秋保との連携を強め、仙台市西部地域の観光を一体として盛り上げる。また、これに蔵王までの区域を含めた広域的な観光資源のネットワークを構築することで、更なる魅力の向上を図る。
- ・クマ、イノシシ、サル対策の推進
- ・耕作放棄地の利活用推進
- ・スポーツ産業の振興

### ⑦公園設備

- ・(仮称)中山台西公園の整備
- ・(仮称)愛子公園の整備
- ・サイカチ沼緑地の整備
- ・老朽化した公園施設の維持管理費及び再整備に関する考え方の整理

### ⑧道路整備

- ・市道愛子赤坂線等の既存市街地内の道路拡幅整備
- ・定義地区への安全安心な道路の整備(市道高畑定義線)
- ・狭隘橋梁の拡幅整備(向田団地代替路、落合橋)
- ・主要地方道定義仙台線の地形急峻区間の道路防災対策
- ・市道芋沢赤坂線等の交通ネットワークに資する道路の整備
- ・除融雪対象路線のアンバランス是正の必要性



## 宮城総合支所管内の将来に向けて

## ○現状

宮城地区管内における推定人口(各年度10月1日現在)

平成元年以降、一貫して増加しているが、近年、増加が落ち着きつつある。

	人口	対元年比
平成元年	33,643人	—
平成10年	55,047人	163.6%
平成20年	66,118人	196.5%
平成30年	73,399人	218.2%

・宮城地区管内の年代別住民基本台帳人口(平成30年10月1日現在)  
15歳以下の若年人口の割合は、全市平均より高い。

	宮城地区		全市	
	人口	構成比	人口	構成比
15歳以下	11,950人	16.1%	143,178人	13.5%
16歳～64歳	44,769人	60.4%	670,221人	63.1%
65歳以上	17,424人	23.5%	248,724人	23.4%
合計	74,143人	100.0%	1,062,123人	100.0%

- ・落合、栗生、愛子地区には、店舗・クリニック・事業所などの集積が進んでいる。
- ・仙山線と国道48号線が地区中央部を横断しており、交通の便が良く住みやすいが、国道48号線については仙山交通の動脈であり、慢性的な交通渋滞が問題になっている。
- ・一方、作並・新川地区、熊ヶ根地区、大倉地区など西部地区の人口は、近年、減少の幅が大きくなっている。対して65歳以上の高齢化率は年々上昇を続け、現在は約42%となっている。

	人口	対元年比	高齢化率
平成元年	3,794人	—	14.8%
平成10年	3,758人	99.1%	21.8%
平成20年	3,258人	85.9%	31.0%
平成30年	2,544人	67.1%	41.9%

※上表の人口は、作並・新川・熊ヶ根・大倉の合計である。

・こうした現状を踏まえ、更に宮城総合支所管内エリアが発展していくことを期待し、将来に向けて以下に課題を示す。

## ①総合支所の機能強化

- ・人口7万人を超える地区を所管する総合支所として、平成30年度に保健福祉機能の強化を図り、保護業務を担う管理課を新設するとともに、保健福祉課の業務を拡充。今後も市民サービス拡充のため、さらなる機能強化が必要。
- ・老朽化している宮城総合支所の将来的な建て替えが必要。

## ②宮城総合支所管内のまちづくりの主な施策

- ・人口急増地区がある一方、作並・大倉地区など西部地区では人口減少と高齢化が進行していることから、地域課題に応じたきめ細かな対策を講じる。
- ・みやぎ台・吉成・国見ヶ丘等の郊外住宅の公共施設の経年劣化に対応し、適切な維持管理を図る。
- ・仙山交流の玄関口としての起点づくりを進める。
- ・国道48号線の複線化とともに、道路拡幅整備を図る。
- ・仙山線及び国道48号線から離れた地域における交通問題について、地域交通システムの導入なども含め、広く対策を検討し、利便性の向上を図る。
- ・防災・防犯など安全安心の確保、高齢者への在宅支援の充実を図る。

## ○落合・栗生・愛子・錦ヶ丘等の周辺地域

- ・愛子駅から宮城総合支所周辺の一帯については、宮城地区の中心にふさわしいまちづくりを念頭に、計画的な整備を図る。
- ・当地域の人口増加を踏まえたコミュニティづくり、若い世代が安心して子育てできる環境整備を図る。
- ・交通の利点を活かした良好な住環境づくり、秋保・愛子・泉を連絡する環状線の整備促進を図る。

## ○西部山岳丘陵地域

- ・人口の減少、高齢化の進行に歯止めをかけるため、地域の魅力や暮らしやすさの向上を図り、地域の活性化を図る。
- ・作並温泉や奥新川をはじめとする豊かな自然、定義如来などの名所旧跡といった西部地区の地域資源の更なる魅力向上を図る。



平成31年度主な予算案概要

事業名	概要	予算額	
農林業振興 (まちづくり)	新規就農・人材育成推進	就農体験の機会を創出することにより、雇用就農や新規就農者の定着を支援する	750千円
	アグリヒロイン支援		750千円
	その他農業担い手総合支援		1,889千円
	農作物有害鳥獣対策	野生鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、防護柵の設置支援等と併せて地域ぐるみの捕獲対策の推進など捕獲体制の充実を図る	57,353千円
	農作物有害鳥獣対策防除支援		8,627千円
	鳥獣被害対策実施隊		34,421千円 うち人件費 31,030千円
	その他農作物有害鳥獣対策		14,305千円
観光振興 (まちづくり)	西部地区観光地域おこし協力隊	国の制度を活用し、首都圏等から人材を受け入れ、西部地区における観光地域づくりの担い手を育成する	8,038千円
仙山連携推進 (まちづくり)	仙山連携による 台南からの誘客促進	台南市と友好都市協定を締結している山形市と連携し、台南の旅行代理店等の招請による観光コンテンツの磨き上げ及び仙台・山形への観光ツアーの造成促進を行うとともに、メディアを活用した情報発信等を実施する	13,000千円
介護サービス基盤整備促進 (人づくり)	広域型特別養護老人ホーム (H29選定分)	青葉区南吉成中学校区(新設) (90床・短期入所10床)	292,320千円
すこやか子育て プラン推進 (人づくり)	幼児教育の無償化	0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもと、3歳から5歳までの全ての子ども幼稚園及び保育所等の利用料を無償化する。また、無償化の対象とならない食材料費について、年収360万円未満相当の世帯等に対し、副食費の免除による負担軽減を図る	3,247,703千円
市民協働による 地域づくりの推進 (人づくり)	地域コミュニティ体力強化	地域コミュニティの中核を担う町内会をはじめ、市民が安心して心豊かな地域生活を営む基盤となる地域団体が継続して活動できる環境づくりに向け、参加啓発や人材の発掘・育成、住民意識の醸成等に取り組む	6,500千円
ふるさと底力向上 プロジェクト (人づくり)	作並・新川地区活性化	作並・新川地区の高齢化と人口減少の急激な進行への対策として、町内会を中心として立ち上げた「作並・新川地区活性化連絡協議会」の取り組みへの支援を行う	10,029千円
仙台市経済成長戦略2023 (都市経営等)	仙台萬本さくらプロジェクト	青野木・大倉地域での桜の植樹活動を通して、地域課題解決のために地域及び地元企業が連携して取り組むプロジェクトへの支援を行う	300千円
	東北地域ものづくり企業連携	東北地域の支援機関と連携し、ものづくり企業間のマッチングを行い、新事業展開や新商品開発、販路開拓などを促進する	1,000千円
	その他ものづくり産業支援	(一部)	2,330千円
	IT企業プロモーション支援	(一部)	7,183千円
	仙台輸出入チャレンジ支援助成		6,600千円
	福祉機器等アジアビジネス展開支援		3,100千円
仙台市交流人口 ビジネス活性化戦略 (都市経営等)	体験プログラム創出	1,000本の体験プログラムを発掘・創出するため、仙台観光国際協会内に専門家を配置し、新規プログラム創出事業者への支援を行う	42,462千円



## 平成31年度主要事業の内示状況(宮城総合支所管内)

### 道路新設改良

(千円)

路線名	工区	要望額	内示額	事業概要
(仮称)向田団地線	向田	32,000	枠内	測量調査 設計 ※重点経費として要望したことから枠内内示となったが、建設局との調整により要望額(32,000)が執行予算となる予定である。
落合栗生線	落合橋	35,000	35,000	測量調査 設計

### 公園整備

(千円)

名称	要望額	内示額	事業概要
(仮称)愛子公園	20,000	20,000	基盤整備 排水施設整備

### 建設局施行事業

(千円)

名称	要望額	内示額	事業概要
愛子駅自由通路 エレベーター整備	30,000	30,000	調査 設計

※国費の内示結果を踏まえて執行予算は編成されることから、執行予算は当初予算とは異なることがある。

## 地域下水道(みやぎ台ニュータウン)の公共下水道編入に伴う工事について

老朽化の進む、みやぎ台ニュータウン汚水処理施設を廃止し、当該地区の汚水を公共下水道宮城処理区で受け入れるため、汚水幹線やポンプ場の整備、広瀬浄化センターの設備増設などの工事を実施しました。

切り替え/令和元年9月1日(予定)

## 平成30年度補正予算案の概要

### 一般会計における歳出補正予定項目

国の補正予算への 対応	防災対応型再生可能 エネルギー導入	新設される錦ヶ丘中学校に防災対応型太陽光発電システムを導入するもの	0.3億円
	予防接種	風しん予防接種の実施に必要な経費を追加するもの	2.2億円
	感染症対策	風しん抗体検査の実施に必要な経費を追加するもの	4.3億円
	低所得者・子育て世帯向け プレミアム付商品券発行	消費税引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響の緩和等のため、プレミアム付商品券の発行に向けた事務を行うもの	0.7億円



平成31年度 施工箇所一覧表

※平成31年度発注予定の工事(財政内示ベース)及び平成31年度への繰越予定工事 平成31年3月1日現在 宮城総合支所道路課

No.	工事件名	施工場所	金額 (千円)	工期	工事概要			
					工種	延長(m)	幅員(m)	設計概要
1	(市)高畑定義線(高畑工区)橋梁上部工事(その1)	青葉区大倉字高畑地内	-	2/4期発注予定	道路改良	-	7.5	橋梁上部工
2	(市)高畑定義線(高畑工区)棧道橋設置工事(その1)	青葉区大倉字高畑地内	-	3/4期発注予定	道路改良	-	7.5	棧道橋
3	(市)高畑定義線(高畑工区)橋梁下部工事(その3)	青葉区大倉字高畑地内	-	2/4期発注予定	道路改良	-	7.5	棧道橋 橋脚
4	(主)定義仙台線(畑前北工区)道路防災及び復旧工事	青葉区芋沢字畑前北地内	-	1/4期発注予定	法面処理	-	-	法枠工 落石防護網工
5	(市)高畑定義線(高畑工区)橋梁下部工事(その1)	青葉区大倉字高畑地内	450,360	H30.7.5 ~H32.1.31	道路改良	-	-	橋脚
6	(市)高畑定義線(高畑工区)橋梁下部工事(その2)	青葉区大倉字高畑~海老沼 地内	451,116	H30.8.2 ~H31.11.29	橋脚	-	-	橋脚
7	(市)高畑定義線(高畑工区)道路改良工事(4工区)	青葉区大倉字海老沼地内	34,311	H30.8.22~ H31.5.31[延期予定]	道路改良	47	-	擁壁工 舗装工
8	(市)赤坂明神線道路改良工事	青葉区芋沢字赤坂地内	59,184	H30.11.1~ H31.6.28[延期予定]	道路改良	200	15.0	擁壁工 舗装工
9	(市)堀切線側溝整備工事(その2)	青葉区上愛子字車地内	7,830	H30.12.20~ H31.4.25[延期予定]	側溝整備	100	-	側溝工
10	(主)定義仙台線(郷六地区)側溝整備工事	青葉区郷六字岩下地内	4,050	H31.2.19~ H31.5.31[延期予定]	側溝整備	100	-	側溝工
11	平成30年度(主)定義仙台線(大倉シェッド)補修工事	青葉区大倉字高柵地内	75,792	H30.12.26~ H31.5.31[延期予定]	シェッド改修	50	-	シェッド補修
12	(市)サイカチ沼線(中沢橋)橋梁補修工事	青葉区上愛子字芋郷地内	25,272	H31.1.10~ H31.5.31[延期予定]	橋梁補修	7.1	5.0	橋梁補修
13	(市)倉内八ツ前線(中田橋)橋梁補修工事	青葉区芋沢字中田西地内	16,092	H31.1.10~ H31.5.31[延期予定]	橋梁補修	5.4	4.0	橋梁補修
14	平成31年度(主)仙台北環状線(葛岡工区)舗装改修工事	青葉区郷六字葛岡地内	-	1/4期発注予定	舗装改修	300	7.5	舗装工
15	平成31年度(国)457号(綱木工区)舗装改修工事	青葉区芋沢字綱木地内	-	1/4期発注予定	舗装改修	150	7.5	舗装工
16	平成31年度(市)滝の瀬支線10号線外1線道路改修工事	青葉区落合三丁目地内	-	2/4期発注予定	側溝改修	270	-	側溝工
17	平成31年度(国)457号(愛子東工区)歩道改修工事	青葉区愛子東三丁目地内	-	2/4期発注予定	歩道改修	300	-	側溝工
18	平成31年度(国)457号(落合五丁目工区)舗装改修工事	青葉区落合五丁目地内	-	2/4期発注予定	舗装改修	250	7.5	舗装工
19	平成31年度(一)秋保温泉愛子線(上愛子工区)舗装改修工事	青葉区上愛子字新宮前地内	-	1/4期発注予定	舗装改修	130	7.0	舗装工
20	平成31年度(市)明神夜盗沢線(荒神工区)舗装改修工事	青葉区芋沢字荒神地内	-	1/4期発注予定	舗装改修	285	6.3	舗装工
21	平成31年度(主)定義仙台線(大倉シェッド)補修工事	青葉区大倉字高柵地内	-	1/4期発注予定	シェッド改修	85	-	シェッド補修
22	平成31年度(国)457号(白沢工区)歩道改修工事	青葉区上愛子字折葉地内	-	2/4期発注予定	歩道改修	270	2.1	歩道改修
23	平成31年度(一)泉ヶ丘熊ヶ根線(下窪工区)舗装改修工事	青葉区大倉字下窪地内	-	1/4期発注予定	舗装改修	200	6.5	舗装工
24	平成31年度(市)吉成伊勢幹線7号線(国見ヶ丘五丁目工区)舗装改修工事	青葉区国見ヶ丘五丁目地内	-	2/4期発注予定	舗装改修	100	6.0	舗装工
25	平成31年度(一)泉ヶ丘熊ヶ根線(菖蒲沼工区)舗装改修工事	青葉区大倉字菖蒲沼地内	-	2/4期発注予定	舗装改修	200	6.5	舗装工
26	平成31年度(主)定義仙台線外3線(大倉工区外)道路標識補修工事	青葉区大倉字寺下地内	-	2/4期発注予定	標識補修	-	-	標識補修
27	平成31年度(市)国見ヶ丘中央線(国見ヶ丘一丁目工区)舗装改修工事	青葉区国見ヶ丘一丁目地内	-	2/4期発注予定	舗装改修	250	7.0	舗装工
28	(市)銅谷原線(横前橋)橋梁補修工事	青葉区芋沢字銅谷原道下東地内	-	3/4期発注予定	橋梁補修	7.7	4.1	橋梁補修
29	(国)457号(広瀬小学校前歩道橋)耐震補修工事	青葉区下愛子字下原地内	-	1/4期発注予定	橋梁補修	16.0	1.5	歩道橋補修
30	(市)赤坂明神線(川窪橋)橋梁補修工事	青葉区芋沢字河窪地内	-	3/4期発注予定	橋梁補修	9.5	7.3	橋梁補修
31	(主)定義仙台線(郷六橋)橋梁補修工事	青葉区郷六字葛岡地内	-	2/4期発注予定	橋梁補修	2.9	5.9	橋梁補修

※1/4期とは4月~6月、2/4期とは7月~9月、3/4期とは10月~12月、4/4期とは1月~3月